

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

ぷらっとホーム株式会社
東証スタンダード 6836

2025年2月7日

目次

2025年3月期3Q

Section 1	ハイライト	P3
Section 2	2025年3月期第3四半期 決算概要	P5
Section 3	事業構成	P10
Section 4	施策と進捗状況	P17
Section 5	業績予想(2025年3月期)	P20
Section 6	トピックス	P23
	Appendix	P30

Section 1 ハイライト

ハイライト

2025年3月期3Q

1

売上高：増収 売上総利益：増益

(前年同期比)

売上高 : 881百万円 +24.7% +174百万円 (前年同期: 706百万円)

売上総利益 : 334百万円 +20.8% +57百万円 (前年同期: 276百万円)

(要因) ネットワークアプライアンスとIoTゲートウェイが増販

ネットワークアプライアンス及びコンピューター関連商品に係るサービスが増加

2

四半期純利益：通期予想の達成に向けて進捗

四半期純利益 : ▲16百万円 +78百万円 (前年同期: ▲94百万円)

営業利益 : ▲47百万円 +43百万円 (前年同期: ▲90百万円)

(要因) 営業外収益: 34百万円 +33百万円

2024年3月期に実施した実証プロジェクトに対する農林水産省の補助金32百万円が交付

3

戦略：ソフトウェア・サービス型の事業形態への転換

・ソフトウェア・サービス収益の強化

ネットワークアプライアンス製品の開発・販売の強化を継続

・Web3技術とIoTを活用した実証事業を実施

INTMAXとWeb3 RWAにおける新しいWallet技術の活用を開始

日本酒の輸送時における品質変化の追跡に関する共同研究を開始

Section 2 2025年3月期第3四半期 決算概要

決算概要

2025年3月期3Q

増収・増益

自社製品コンピューター：ネットワークアプライアンスとIoTゲートウェイが増販

コンピューター関連商品：前年同期は出荷が集中したため、今期は減販

サービス・その他：ネットワークアプライアンス及びコンピューター関連商品にかかわるサービスが増加

単位：百万円	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減率	増減額
売上高	706	881	+24.7%	+174
営業利益	▲90	▲47	--	+43
経常利益	▲89	▲15	--	+74
四半期純利益	▲94	▲16	--	+78

決算概要

2025年3月期3Q

増収・増益

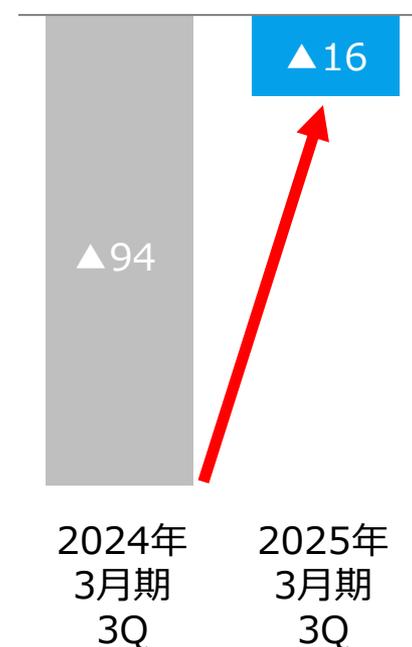
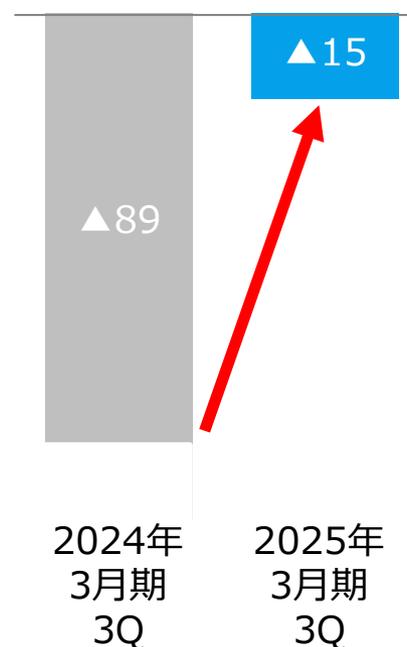
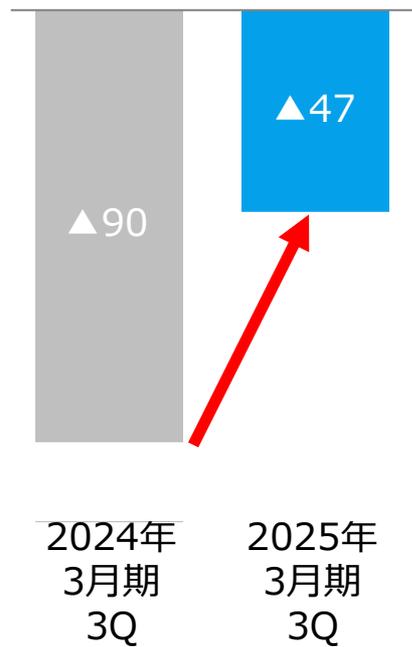
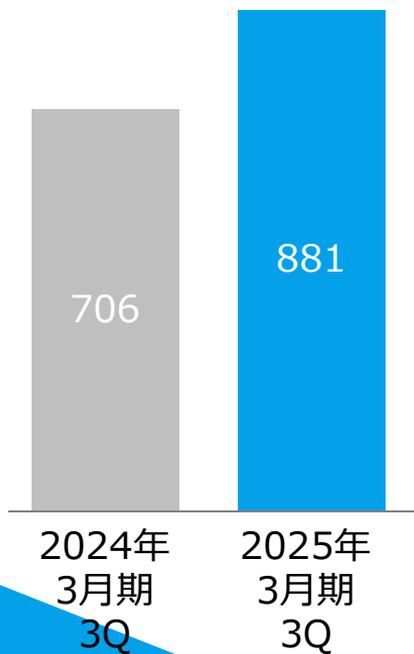
単位：百万円

売上高

営業利益

経常利益

四半期純利益



損益計算書

2025年3月期3Q

単位：百万円	2024年3月期 3Q		2025年3月期 3Q		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	706	100.0%	881	100.0%	+174	+24.7%
売上総利益	276	39.2%	334	37.9%	+57	+20.8%
販管費	367	52.0%	381	43.3%	+14	+3.9%
営業利益	▲90	▲12.8%	▲47	▲5.4%	+43	—
経常利益	▲89	▲12.7%	▲15	▲1.7%	+74	—
四半期純利益	▲94	▲13.4%	▲16	▲1.9%	+78	—

貸借対照表

2025年3月期3Q

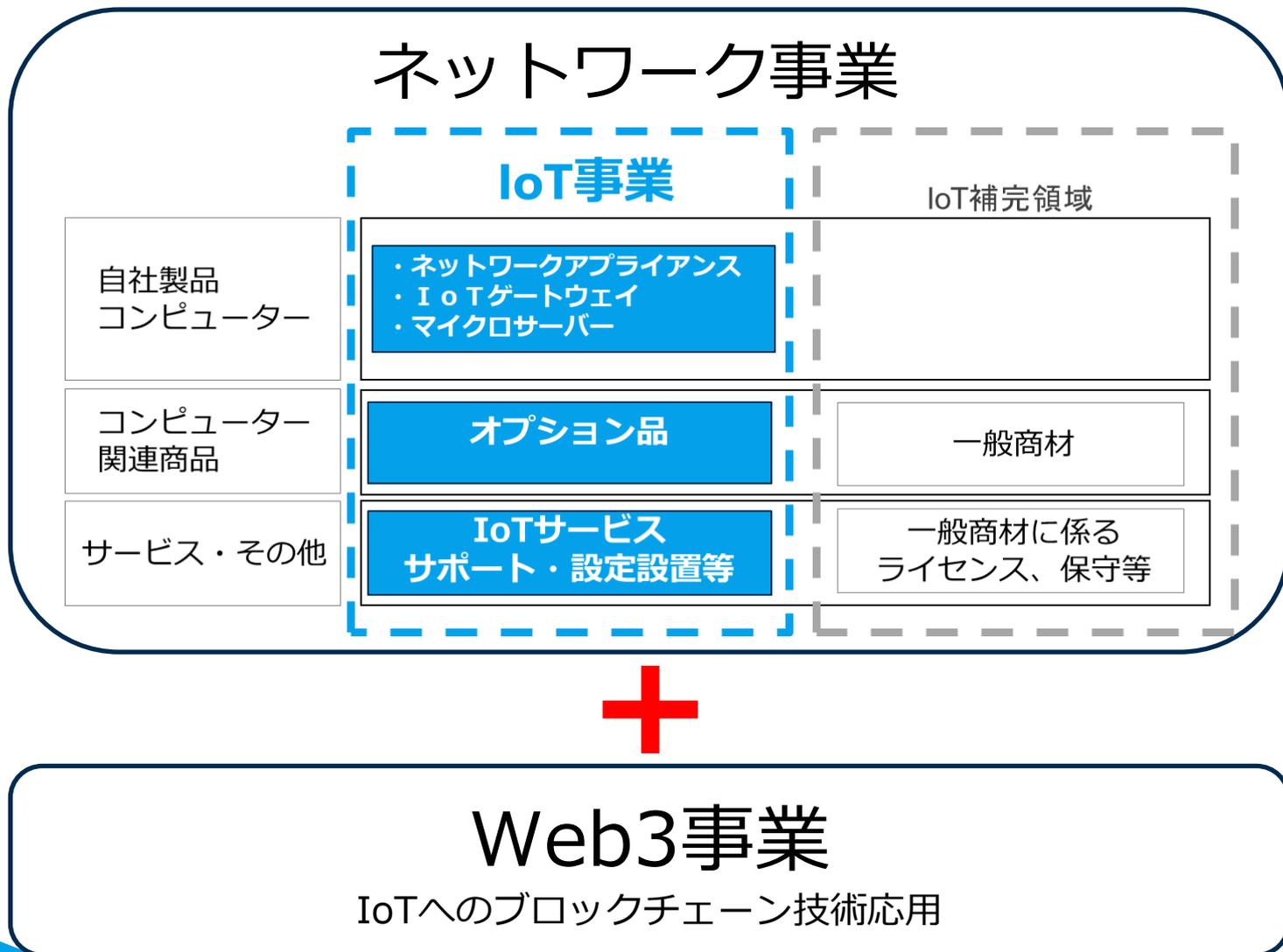
単位：百万円	2024年3月		2024年12月		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
現金預金	158	24.6%	247	35.4%	+88	+56.1%
売掛金及び 契約資産	152	23.7%	184	26.3%	+31	+20.5%
棚卸資産	263	40.8%	201	28.8%	▲61	▲23.5%
その他	21	3.3%	17	2.5%	▲3	▲18.5%
流動資産	596	92.4%	650	93.0%	+54	+9.1%
固定資産	49	7.6%	49	7.0%	—	—
資産合計	645	100.0%	699	100.0%	+54	+8.4%
流動負債	251	38.9%	276	39.5%	+25	+10.0%
固定負債	37	5.8%	35	5.1%	▲1	▲4.1%
負債合計	288	44.7%	312	44.6%	+23	+8.2%
純資産合計	356	55.3%	387	55.4%	+30	+8.6%
負債純資産合計	645	100.0%	699	100.0%	+54	+8.4%

Section 3 事業構成

事業構成

2025年3月期3Q

従来のネットワーク事業に加え、
Web3事業の2事業で構成



品目別の状況

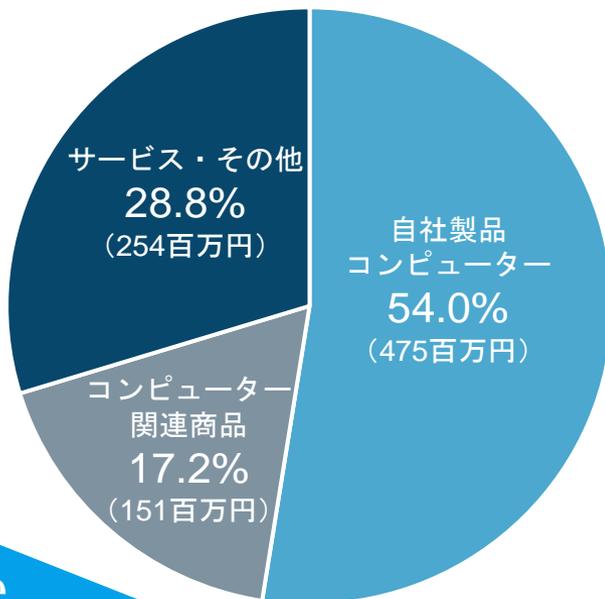
2025年3月期3Q

売上高・粗利益ともに自社製品コンピューターが約5割

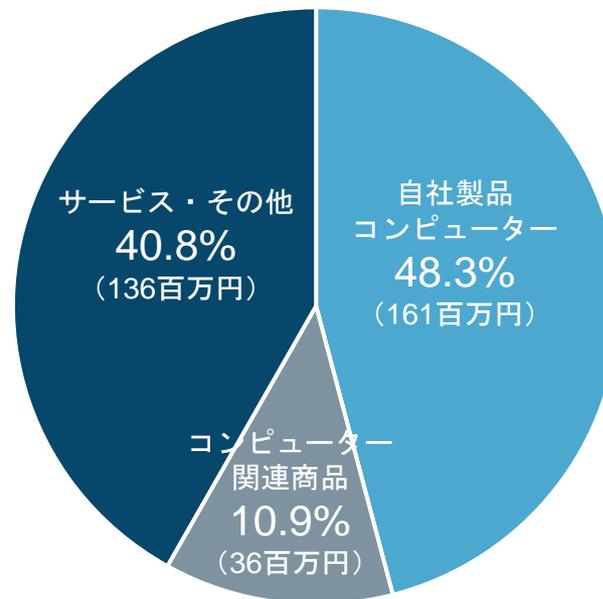
単位：百万円	売上高				粗利益(粗利益率)			
	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減額	増減率	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減額	増減率
自社製品コンピューター	332	475	+143	+43.1%	123(37.3%)	161(34.0%)	+37	+30.5%
コンピューター関連商品	193	151	▲42	▲21.7%	44(22.9%)	36(24.1%)	▲7	▲17.8%
サービス・その他	180	254	+73	+40.7%	108(60.1%)	136(53.7%)	+27	+25.6%
合計	706	881	+174	+24.7%	276(39.2%)	334(37.9%)	+57	+20.8%

構成比

売上高



粗利益

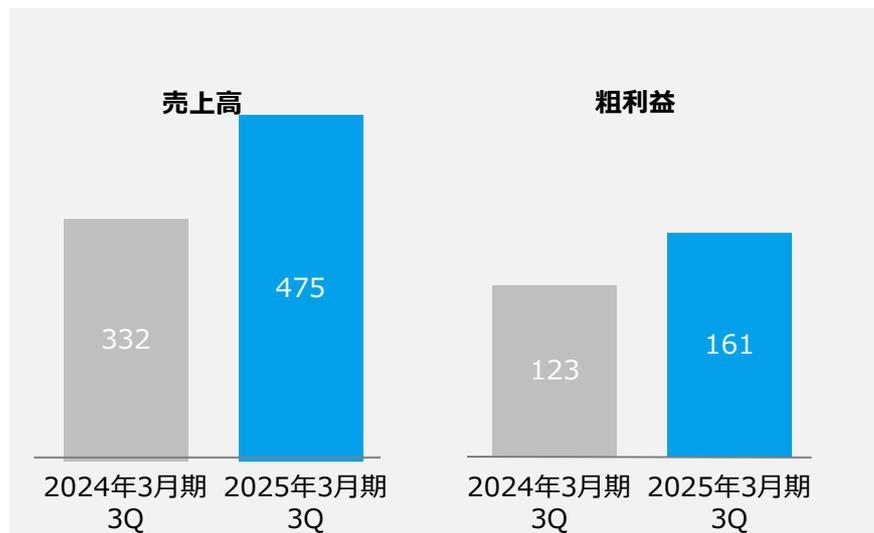


品目別の状況(自社製品コンピューター)

2025年3月期3Q

増収増益

単位:百万円	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減率	増減額
売上高	332	475	+43.1%	+143
粗利益	123	161	+30.5%	+37



【要因】

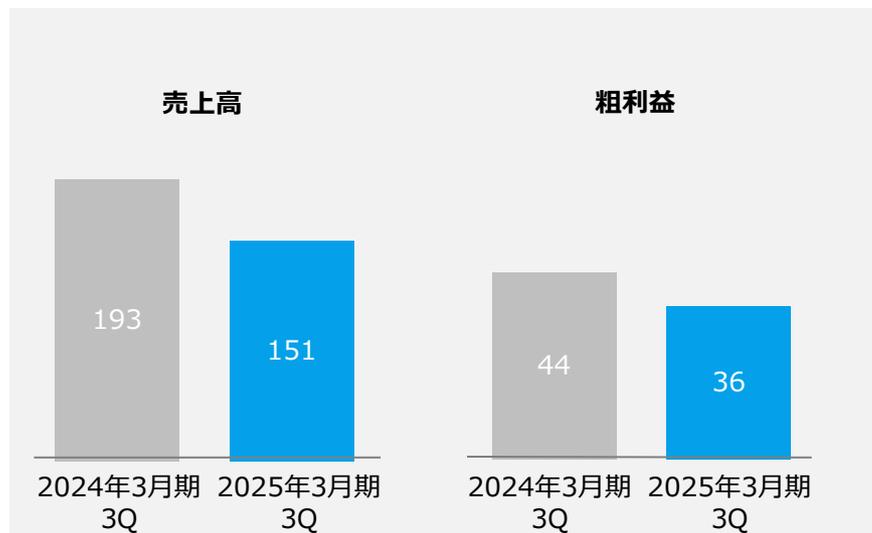
- ・ネットワークアプライアンス製品：増販
- ・IoTゲートウェイ製品：増販
- ・マイクロサーバー：増販
- ・ネットワークアプライアンス製品は積極的な販売活動が成果を上げる
- ・IoTゲートウェイは既存案件の出荷が順調に推移

品目別の状況(コンピューター関連商品)

2025年3月期3Q

減収減益も高水準の利益率を維持

単位：百万円	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減率	増減額
売上高	193	151	▲21.7%	▲42
粗利益	44	36	▲17.8%	▲7



【要因】

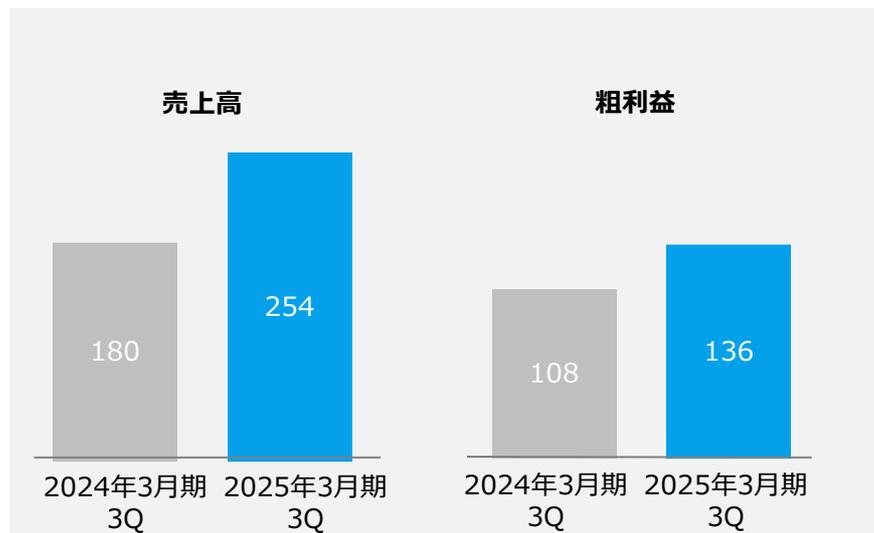
- ・ 前年同期：半導体不足のために遅延していた商品の入荷が再開されたため販売が集中
→今年度はそれが落ち着いたため減販
- ・ **売上総利益率は24.1%**(前年同期は22.9%)

品目別の状況(サービス・その他)

2025年3月期3Q

増収増益

単位：百万円	2024年3月期 3Q	2025年3月期 3Q	増減率	増減額
売上高	180	254	+40.7%	+73
粗利益	108	136	+25.6%	+27



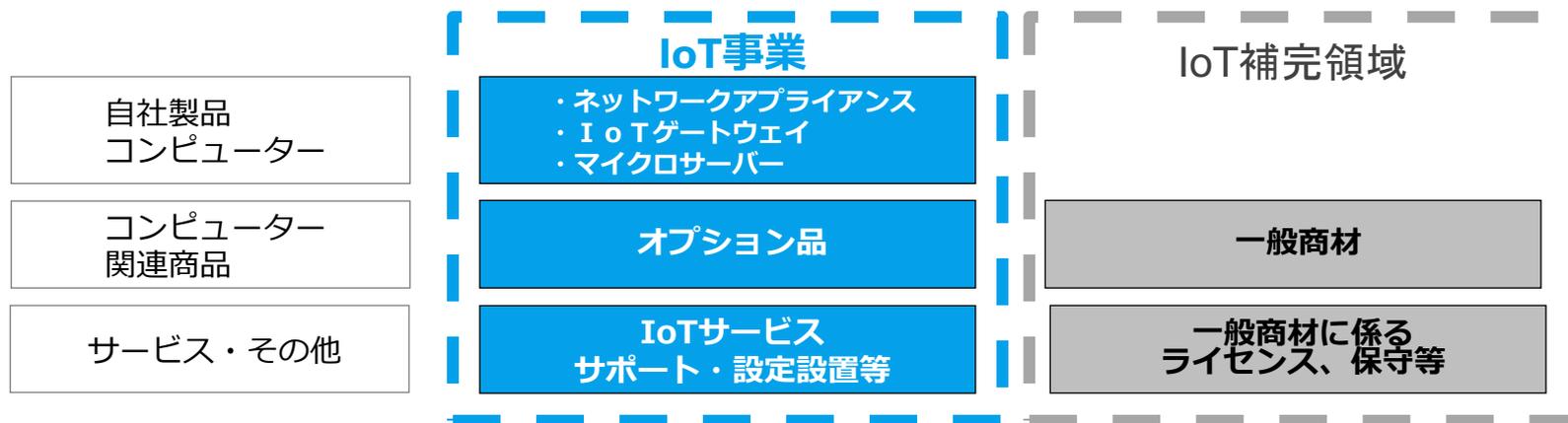
【要因】

- ・ネットワークアプライアンス及びコンピューター関連商品に係るサービスが増加

事業構成

2025年3月期3Q

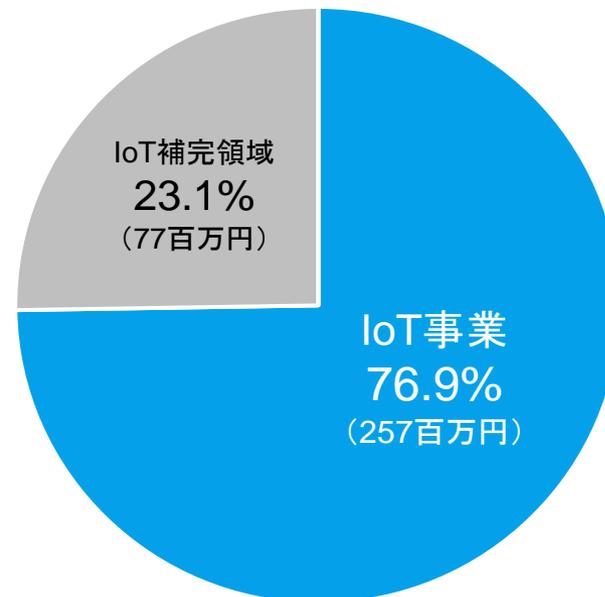
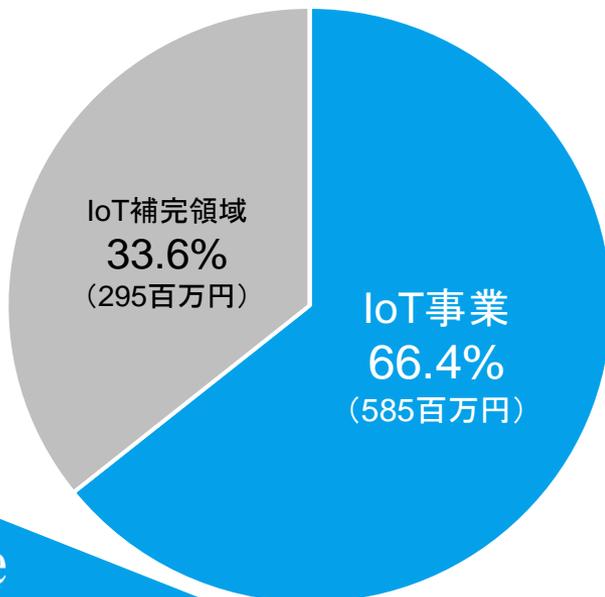
売上高の6割強、粗利益の7割強がIoT事業



構成比

売上高

粗利益



Section 4 施策と進捗状況

施策と進捗状況

2025年3月期3Q

ハードウェア型の事業形態から ソフトウェア・サービス型の事業形態へ ～ストック・サービス・レベニューの増加～

施策

進捗状況 (3Q)

ソフトウェア・サービス収益の強化

- ・専用ソフトウェアを搭載し付加価値を高めたネットワークアプリケーション製品を収益化の柱の一つと位置づけ、この開発・販売の強化を継続
 - 「EasyBlocks DDN1 Enterprise」を発表
- ・ストック・サービス・レベニューの増加を目指す

ブロックチェーンを活用したIoTによるWeb3領域への参入

- ・真空サーバーを用いて日本酒業界のDX化を目指す実証事業を開始
- ・花火産業にデジタル技術を活用する連携協定を秋田県大仙市と締結
 - 「大曲の花火」へスマートフォン用公式アプリケーションを提供
- ・INTMAXとWeb3 RWAにおける新しいWallet技術の活用を開始
- ・日本酒の輸送時における品質変化の追跡に関する共同研究を開始
- ・Web3事業化準備室を設置

施策と進捗状況(Web3事業)

2025年3月期3Q

Web3事業化準備室を設置

Web3事業を本格的に事業化へ

経緯

当社は、2018年以来、ブロックチェーンをIoTに利用することに関する特許を複数件取得し、慶應義塾大学SFC研究所との共同研究など、Web3に関する基礎研究を行ってきました。

この研究結果を踏まえ、昨年度は国内地域産日本酒の輸出拡大を図るためにWeb3技術を活用する実証プロジェクトを行い、Web3技術を用いて「ThingsToken™※」の実証投入に成功しました。また、今年度は日本酒の品質管理と、物流コストやフードロスの削減に真空技術と当社のIoTとWeb3技術を活用する実証プロジェクトを実施しています。さらに、INTMAXとは、同プロジェクトが開発・運営している新しいWallet技術「INTMAX Wallet」に、「ThingsToken™」を連携する取り組みを進めています。

Web3事業化準備室は、事業計画・収益モデルの作成、必要な法的事項の調査と対応、さらに事業会社設立を含む事業化の準備を取り進めてまいります。

※ThingsToken :

ThingsToken™は、現実世界の資産をブロックチェーン上に仮想化できるトークンシステム及びその技術です。現実世界の資産（RWA: Real World Asset）のモノや設備・デバイス群を仮想化することで、Web2の世界をWeb3の世界へ結び付け、現実資産に関連したトークンエコノミクスを加速します。ThingsToken™ はぶらっとホーム株式会社の登録商標です。

Section 5 業績予想(2025年3月期)

業績予想(2025年3月期)

増収・増益予想

売上高：ネットワークアプライアンスに注力

利益：Web3実証事業の補助金収入を見込む

単位：百万円	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (予想)	増減率	増減額
売上高	998	1,160	+16.1%	+161
営業利益	▲101	▲40	--	+61
経常利益	▲101	20	--	+121
当期純利益	▲107	15	--	+122

ハードウェア型の事業形態から
ソフトウェア・サービス型の事業形態へ
～ストック・サービス・レベニューの増加～

ネットワークアプライアンスの強化

ネットワーク事業は「ネットワークアプライアンス」に注力。
IoTゲートウェイとマイクロサーバーは既存顧客・既存事業の
維持・成長をサポートする。

Web 3 事業の商業化

商業化と実証事業を推進する。

Section 6 トピックス

トピックス

2025年3月期3Q

ネットワークアプライアンス製品の強化 「EasyBlocks DDN1 Enterprise」と 「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」を発売

「EasyBlocks DDN1 Enterprise」
DHCP・DNS・NTPサーバーが一体になった
ハイエンドモデルのネットワークサーバーアプライアンス



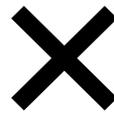
「EasyBlocks DHCP AS 5000 / 2500」
アクティブスタンバイ構成を実現する
冗長化※機能を搭載した
DHCPサーバーアプライアンス



トピックス

2025年3月期3Q

INTMAXとWeb3 RWAにおける 新しいWallet技術の活用を開始



Web3におけるRWAとステークホルダー参加の領域を モノやデバイスを含む非金融領域まで大幅に拡大

本取り組みは、弊社が開発する「ThingsToken™」と、INTMAXが開発するセキュリティーを大幅に拡張した新しいWallet技術「INTMAX Wallet」を組み合わせることで、多様なステークホルダーが柔軟かつ安全に、Web3エコシステムに参加することを可能とするものです。

ぷらっとホームとINTMAXは、EthereumおよびINTMAX Walletから連携を開始し、INTMAXの開発するプライベートとスケーラビリティを提供する新しいL2ネットワークであるIntmax2およびPlasma Freeへと適用を進める予定です。

トピックス

2025年3月期3Q

国内および海外輸送時でも 日本酒のおいしさを保つための共同研究を開始



秋田県

Plat' Home
* TECHNOLOGY to serve you.

HITACHI
Inspire the Next

日本酒の輸送時における品質変化の追跡に関する共同研究を行うことを発表

背景と内容

日本酒は海外での人気が高まっており、日本の「伝統的酒造り」は、国連教育科学文化機関（UNESCO）の無形文化遺産に登録もされました。国内はもちろん、輸出先でもおいしい日本酒であるために、日本酒の品質に関わるとされる温度の影響を分析し、輸送中の温度管理に活かすことが必要です。

本共同研究は、秋田県総合食品研究センター、ぷらっとホーム株式会社、株式会社日立産機システム、および株式会社日立ソリューションズが協力し、日本酒の輸送時における温度履歴を追跡し、日本酒の品質変化の影響に関する研究を行い、**日本酒の輸出増加への貢献をめざす**ものです。

トピックス

2025年3月期3Q

日本酒輸出増実証プロジェクトが、 読売テレビ「ウェークアップ」で紹介

2025年2月1日(土)に放送された読売テレビ「ウェークアップ」にて、
「日本酒海外輸出に向けた秘策を追う」の中で、
日本酒輸出増実証プロジェクトの成果が紹介されました。



■ 撮影の様子（撮影：ぷらっとホーム）



以下のリンクからご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=ZJAdOlldP9o>

（読売テレビ「ウェークアップ」YouTubeチャンネルより）

トピックス

2025年3月期3Q

資本金及び資本準備金の額の減少について

2025年1月15日開催の取締役会決議に基づき、
臨時株主総会を開催し、資本金及び資本準備金の額の減少を付議します

(1) 基準日: 2025年1月31日(金)

(2) 臨時株主総会

開催日時: 2025年3月28日(金) 午前10時

開催場所: 東京都千代田区 損保会館 大会議室

付議事項: 資本金及び資本準備金の額の減少の件

(3) 資本金及び資本準備金の額の減少

資本金 123,370,900円から 100,000,000円に減少

資本準備金 23,370,900円から 0円に減少

払い戻しを行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少額の全額をその他資本剰余金に振り替えますので、当社の純資産額に変動はなく、株主の皆様のお所有株式数や1株当たり純資産額に影響を与えるものではありません。

Plat' Home

 TECHNOLOGY to serve you.

本件に関するご連絡先
ぷらっとホーム株式会社 IR担当
03-5213-4376（平日9:30-17:00）

（注）スライドに記載された当社の見通し、戦略等は将来の市場動向、消費動向、経営環境その他予測不可能な要素により、異なる結果となる恐れを含んでおります。このため弊社は今回発表した内容を全面的に確約する義務を負うものではありません。

Appendix

ぷらっとホーム株式会社 会社概要

設立：1993年3月

決算期：3月

上場：東証スタンダード 6836

資本金：1億2,337万円

社長：鈴木 友康

(2024年4月26日現在)

社員数：33人 (2024年12月31日現在)

売上：9億9,894万円 (2024年3月期)

主な事業内容：

- IoTゲートウェイや各種ネットワークサーバー用途に最適な、Linuxを始めとするオープンソースソフトウェアを装備した自社製品コンピューターの開発・販売
- 自社製品を補完する商品を中心とした周辺機器/ネットワーク機器の販売
- 製品のリモート管理サービスやIoTコンサルティング・ソリューションなどのIoTサービス及び自社製品に係るサービス、保守の提供

当社ミッション

「自由で安全なコネクテッドワールドの実現」

事業展開 独自成長とアライアンス両面での成長

当社は2つの事業を通じて
「自由で安全なコネクテッドワールド」
の実現を目指します。

自由で安全なコネクテッドワールドの実現

ネットワーク事業

Web3事業

I O T 事業

I O T 補完領域

データ伝送・流通

当社独自の強みを生かして
さらなる成長と拡大を実現

アライアンスにより
新たなる成長を目指す



当社事業による社会貢献

環境への配慮

- 当社は、SDGsが採択される以前から、ISO14001を取得し、喫緊の課題である環境問題に向き合い、その解決に向けて取り組んできた。

SDGsへの取り組み

- 当社の技術力により、産業界におけるIoT化を促進。産業と技術革新の基盤を創出（SDGs目標9）
- 大型で電力を消費するサーバーに代替する製品として、当社製品は小型かつ電力消費量低減を実現。製造者としての「つくる責任つかう責任」（SDGs目標12）
- 当社のパートナー戦略は、持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化（SDGs目標17）

当社の事業展開により、顧客とともにカーボンニュートラルに取り組み、SDGsを実現し、社会に貢献してまいります。